



平成 26 年 1 月 28 日

各 位

東京都千代田区外神田四丁目 14 番 1 号
 株式会社 アクセル
 代表取締役社長 松浦 一 教
 (コード番号 6730 東証第 1 部)
 問い合わせ先
 取締役 管理グループ 千代進 弘
 ゼネラルマネージャー
 電 話 03-5298-1670

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、平成 26 年 1 月 28 日開催の取締役会において、平成 25 年 4 月 25 日に公表いたしました通期業績予想につきまして、下記の通り修正しましたのでお知らせいたします。

記

●連結業績予想の修正について

平成 26 年 3 月期 通期連結業績予想数値の修正 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	11,000	1,350	1,350	850	68.53
今回修正予想 (B)	11,000	1,850	1,850	950	76.59
増 減 額 (B - A)	0	500	500	100	-
増 減 率 (%)	0.0	37.0	37.0	11.8	-
(参考) 前期実績	16,717	3,260	3,272	2,071	166.99

●個別業績予想の修正について

平成 26 年 3 月期 通期個別業績予想数値の修正 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	11,000	1,500	1,000	80.63
今回修正予想 (B)	11,000	2,000	1,000	80.63
増 減 額 (B - A)	0	500	0	-
増 減 率 (%)	0.0	33.3	0.0	-
(参考) 前期実績	16,717	3,340	1,944	156.80

業績予想の修正理由

(1) 連結業績予想

売上高につきましては、前回発表の予想値から変更はありません。

一方、営業利益、経常利益につきましては、当初計画比 500 百万円増の 1,850 百万円（当初計画比 37.0%増）に修正いたします。これは、製品販売構成比率の変動により売上総利益が増加する見通しとなったことや研究開発費の一部期ずれにより販売費及び一般管理費が減少する見通しとなったこと等によるものです。

また、ヤマハ株式会社との和解に伴い特別損失 400 百万円を計上したことにより、当期純利益につきましては当初計画比 100 百万円増の 950 百万円（同 11.8%増）に修正いたします。

(2) 個別業績予想

個別業績予想につきましては、連結業績予想の修正と同様の理由に加え、関係会社株式の減損を特別損失に計上することを加味して業績予想を修正しております。

(3) その他

今回、通期業績の予想値を修正いたしましたが、平成 26 年 3 月期末の配当予想につきましては、修正しておりません。期末配当につきましては、従前どおり当社株主還元方針に則り算定いたします。

なお、当期の配当額の算定におきましては、ヤマハ社との和解及び関係会社株式の減損に伴う特別損失の影響は除外する予定です。

<参考>

当社の株主還元方針は「株主の皆さまへの適正な期間収益の還元」と「機動的な経営を可能にするための適正な内部留保の維持」を勘案しつつ、株主の皆さまへの中長期的な株主還元を最大化することです。

本方針に基づき利益配当につきましては、当期純利益（単体）の 50%を配当額とすることを原則といたします。また、配当性向 50%で算定した配当額が前年配当額を下回る場合には、適正な内部留保の水準（概ね販売費及び一般管理費の 3 年分）を確保したうえで、従前の配当水準を考慮した配当額を検討いたします。

なお、内部留保資金につきましては、中長期的な成長戦略に基づき、主に研究開発や他社技術の機動的な導入の資金として活用し、継続的な企業価値向上に努めます。また、自社株買いにつきましては、株式の流動性、財務戦略の柔軟性、資本効率の向上、株主還元等を総合的に勘案しながら検討することとしております。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。

実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上